

令和7年度 第1回 宇美町地域公共交通会議議事概要

①開催日時：令和7年7月14日（月）14：00～14：35

②開催場所：宇美町役場3階第2委員会室

③出席者：（順不同・敬称略）

〔委員〕

原田（会長）、山本（榑木村タクシー）、中尾（合屋タクシー株）、大嶋（九州旅客鉄道株）、鶴川（小学校区コミュニティ運営協議会）、江口（自治会長会）、黒川（町議会議員）、辻（宇美こども子育てネット・う～みん）、小河（民生委員・児童委員）、大井（大分大学有識者）

〔代理出席〕

泉田（西日本鉄道株式会社・池田代理）、武末（九州運輸局福岡運輸支局・永松代理）、高木（粕屋警察署・佐田代理）

〔オブザーバー〕

添田（宇美町都市整備課）

〔事務局〕

シティプロモーション課 竹下、浦本、村上

1 開会挨拶

（会 長）本年度第1回目の地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会となる。本日、地域公共交通会議では、のるーと宇美の運行について、後半の地域公共交通活性化協議会では、令和6年度の事業報告と今年度の事業計画について報告をさせていただく。本年度も宇美町地域公共交通計画に基づき、様々な事業の実施について、取組を進めていきたい。

2 報告事項

①のるーと宇美の運行に関する報告

（事務局）説明

（会 長）のるーと宇美の運行について、月別利用者数の推移、予約ツールの割合、運行効率向上に向けた新たな取組の成果などについての報告を行った。

これについて、ご意見、ご質問がある方はどうぞ。

（江 口）のるーと宇美の稼働率について待ち時間が長いという意見を聞くことがある。市街地に遠いエリアが優先的に予約できるようにできないか。

(事務局) 予約が集中する時間帯では、今から乗りたいという予約は待合時間が長くなる。窓口等では、1週間前から予約可能なため、予定が決まったらなるべく早く予約を入れると希望時間に近い予約が取れるという説明をしている。のる一とは運行から2年が経過したが、まだまだAIが学習している途中である。今後もののり一と
の特性については広報などで周知をしていく。

(運輸支局・武末) 優先配車をすると、AIの要素が必要なくなる。状況を事務局で把握して、1番いい解決策というのを見いだすのが先行してやるべきことだと考える。

(鶴 川) のる一とを頻繁に利用しているが、ルートの的に自分が先に降りた方が効率の良いような場合にも、別の方を先に降ろして戻ってくるような時がある。運転手の判断で、効率よく降ろしてもらえないか。

(事務局) のる一とは、14分という寄り道時間の設定の中で可能な予約を受け付けている。予約状況によりルートが変更されても、予約時に確定した乗降場所は変更されないため、非効率な運行になっているのではないかという意見もある。運行支援会社とも情報共有をして改善に向けて取り組んでいく。

(中 尾) 補足で。運行中はAIが指示したルートがタブレットに表示されるが、目的地につかなければ乗車や降車の処理ができない。運転手が常にタブレットを見て運転はできないため非効率に見える遠回りも、現状としては致し方ない。14分の寄り道時間についても研究をすすめていく必要がある。

(西鉄・泉田) のる一と宇美の1日の利用者数が目標である150名を数回突破しているが、バスの台数を増やす計画はあるか。

(事務局) 現在、150名を超える日が月に数回あるが、平均では1日の利用者数が130名程。公共交通計画の計画期間中は平均して150名を超えるように取り組んでいく。

(大 井) 感想だが、乗合率30%を超えてるのは全国的にはいいほう。
ただAIに学習してもらうまでにはすごく時間がかかる。時間をかけて情報を積み上げていかないとと思うとおりにならない。
あとは、乗車時間や金額などの特徴によって、タクシーやバスなどを使い分けしていくことが必要だと感じている。

(黒 川) のる一と志免との乗り継ぎ方法は？

(事務局) のるーと宇美とのるーと志免、それぞれで予約を取る必要がある。広報 7 月号でもお知らせしている。

(会 長) ほかに意見・質問等はないか。

(意見・質問なし)

(会 長) それでは、これで地域公共交通会議を終了し、引き続き地域公共交通活性化協議会に移らせていただく。